

市政への提言

平成21年6月4日～6月18日受付分

提言・意見	所管課等	対応状況
<p>40. 現在私の住んでいる地域には歩いて行ける距離に公園が一つもありません。公園に行くには車で移動しなければなりません。津山地区は子供が少ないと聞きます。歩いて行けるところに子供もいない上に、遊べる公園も無いような地域で、子供を産み育てていく事を考えると、子供にとってあまりにも寂しい環境で、子供を育てていくのが不安になります。古くからある住宅地の中に公園を作るのは難しい事かも知れませんが、最近出来た新しい道路は、日中車通りが激しい訳でもないようなので、新しい道路付近にでも子供達が集まって遊べる公園を作って頂くことはできないでしょうか。</p> <p>子育て支援で金銭的な援助を考えて頂けるのもありがたい事ですが、これからの子供達の為にも環境の事も考えてくださるようお願いいたします。</p>	<p>農林課</p>	<p>市では、既存の公園が安全でより楽しい施設となるよう維持管理に努めています。</p> <p>これまで農村公園は、地域から提供していただいた土地を農村総合整備モデル事業等を活用し整備を行ってきましたが、この事業については平成18年度で終了しています。</p> <p>新たな公園や用排水路の整備を含む農村環境整備については、今年度中に市内全域の農村集落の要望調査を行い、用地確保や整備の手法、優先順位などについて検討していきたいと考えています。</p>
<p>41. 私は75歳以上の高齢者世帯ですが、最近足腰が弱くなり、河川清掃（草刈）及び交通安全立哨への参加について苦慮しております。町内会では、県、市、安協の要請、依頼により高齢者世帯であることは関係なく参加を割り当てられます。高齢者世帯に対する割当と参加について、町内会に免除するよう市長名で指導することを検討して</p>	<p>生活環境課 建設課</p>	<p>交通安全立哨については、春、夏、秋の各交通安全運動の一環として、交通安全協会各支部と自治会の交通安全協会の自主事業として活動をしていただいております。これまで従事者については、交通安全協会各支部と自治会で選任していました。</p> <p>また、河川清掃についても、活動内容と参加の呼びかけについては、各自治会にお任せしています。</p> <p>しかし、高齢者世帯等従事が困難</p>

市政への提言

平成21年6月4日～6月18日受付分

提言・意見	所管課等	対応状況
<p>もらえないでしょうか。</p>		<p>な世帯が増加傾向にあることから、今後は従事が困難な世帯に十分配慮していただくよう各組織へお願いしていきます。</p>
<p>42. 泉町、市道東西線（市役所と美術館の間の延長線）に歩行者用白線を左右に引いていただきたい。歩道のない生活道路であり、小学校への通学路でもあります。</p> <p>最近、朝夕を中心に車の通行が極端に多くなり、子供の通学時には道路の端に追いやられている状況です。</p> <p>子供の安全を意識されているのであれば、せめて白線で歩行者と車を区別していただきたい。</p>	<p>建設課</p>	<p>御提言の白線は、歩行者の安全確保はもちろんですが、道路を通行する車両もこの白線を越えてはならないことになっています。御要望箇所に白線を引くことは、車両が交差するのに必要な最低5.5mの幅員を確保することができなくなるため、設置は難しいと考えています。</p> <p>なお、通学路の安全を確保するため、この箇所の側溝に蓋掛けを行いました。</p>
<p>43. 八幡山の現在の配水池近くに、1万t規模の耐震性配水池の築造計画があると聞きました。予算額4億5千万円で、ステンレス製の配水池になるそうですが、耐震性の実績がありません。どのような基準で選択したのでしょうか。</p> <p>また、現在使用しているプレストレストコンクリート製の配水池は、阪神淡路大震災の時に被害ゼロという実績もあります。また、施工費も約2億5千万円から3億円と、約2億円から1億5千万円の施工費削減にも繋がるそうです。</p> <p>水道事業所の方は、「予算もとってあるから。」と言うことですが、地元建設業者の参入がゼロ</p>	<p>水道事業所</p>	<p>水道事業所では、八幡山に第2配水池を造る計画を進めています。</p> <p>配水池の構造については、プレストレストコンクリート構造と比較し、内面塗装が不要であることから、水質面での安全性や腐食がほとんどないため、強度の低下がなく、耐久性、耐震性に優れていること、建設時の費用は多額になるものの、維持管理を含めたトータルコストの面では経済的であること等を総合的に勘案し、ステンレス構造での建設を予定しています。</p> <p>工事にあたっては、地元業者の受注の機会が図られるよう十分配慮していきたいと考えています。</p>

市政への提言

平成21年6月4日～6月18日受付分

提言・意見	所管課等	対応状況
<p>に等しい工事を見過ごすわけには行きません。PC製なら、生コン、鉄筋、足場、土木、配管等他業種で地元建設業者が潤うと思います。</p> <p>この不景気の中、地元建設業の倒産件数も年々増加しておりますので、もう一度検討し直してみてもいいですか。</p>		
<p>44. 旧児童家庭課に用事があり来庁したが市民病院隣の健康センターで手続きしなければならぬとのことで、わざわざ市民課職員が電話連絡し出向きました。市報でも知らせてはいるのですが、移行期間を設け誰か1人くらい（臨時職員等）は常駐させるべきです。場合によっては本庁と健康センターを往来する市民も出てくるのではないのでしょうか。誰でも車の運転ができるわけではないし、1人親世帯は時間をやりくりして来庁しており、公務員目線での見方は間違っていると思います。</p> <p>また、既存の保健センターがあるにもかかわらず、改築せずに新築もどうかと思います。新しいものにだけ目が向くのはいいかなものではないでしょうか。施設が離れている分対応も大切にしてください。</p>	<p>健康課 子育て支援課</p>	<p>保健センターは、築後25年が経過し、老朽化に加え駐車場を含めて施設が狭いことなどから、情報発信機能の充実を図り、保健事業、子育て支援、障がい児・障がい者支援の強化を柱として、隣接する天童市民病院との連携を図れるよう整備しました。</p> <p>健康課と子育て支援課の移転に際しては、市民のみなさまに不便をおかけしないように、市報や市役所窓口でのチラシによる広報を行い、移転後も健康センターの窓口で職員が説明し、対応できるように情報の共有化を図ってきました。</p> <p>しかし、手続きに関しては、直接健康センターに来所していただく必要がありますが、御不便をおかけする場合がありますが、特に病後児保育や発達支援などの新規事業について、内容を充実してきめ細かなサービスを行うには必要なことと考えています。</p>